

第 47 回分子生物学会参加報告

M2 日下部未来

私は、2024 年 11 月 27~29 日に福岡国際会議場、マリンメッセ福岡にて開催された第 47 回分子生物学会へ参加し、『転写ポージング解除因子 P-TEFb による腸管恒常性維持機構』という題でポスター発表をさせていただきました。ポスターを作成して、今後にやらなければならない実験をはっきりさせることができました。

ポスター発表について、前回の学会の反省から、話す内容を繰り返し練習していましたが、いざ発表時間となるとうまく言葉が出てこなかったり説明が長くなってしまったりする部分もありました。また、聞きにきてくださった方は、転写についての研究をやっている方が多く、題名の付け方の重要性を学びました。この反省を活かし、修士論文の題名や発表内容は、研究の面白さが伝わるようなものにしたいです。

自分の発表時間外は、他の方のポスター発表やシンポジウムに行き、さまざまな研究発表を聞くことができました。腸内細菌や腸管上皮に関する発表を聞き、自身の研究に役立つことはないか情報収集を行いました。

分子生物学会は参加者の数が非常に多く、研究内容も多岐に渡り、限られた時間で見たい発表を回るのが大変でしたが、とても充実した3日間となりました。また、高校の同期と1年ぶりに会い、互いに研究を頑張ろうと刺激を受けました。このような貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

